

就職支援

（１）就職活動支援

学生の就職活動への支援は、4年一貫の就職支援プログラム（低学年次学生[1・2年次生]、3年次学生および4年次学生に大別）を教育課程外にて策定し、実施しています。

低学年次（1・2年次学生）では、各学期（計4学期）において、「就職力アップ 세미나」を開講します。このセミナーは、社会で求められる重要な力の一つである「コミュニケーション力」（読む・書く・聴く・話す）について4学期に亘って学ぶことをベースに、進路決定までの4年間の流れを理解したうえで、低学年次からできる就職活動準備を自ら定めることにより、職業観の醸成を目指します。

3年次学生では、この時期を本格的な就職準備活動期と位置づけ、「自己を知る」、「業界・企業を知る」、「就職活動のテクニックを知る」ことを基軸とした年間11回の就職ガイダンスを行います。またこれらと並行して、少人数による「面接・グループディスカッション対策」や「自己紹介書の書き方」等のフォローアップ講座を開催します。さらに、3年次3月には、企業を招いて学内での大規模な企業説明会を開催します。2018年度は、560社の企業に参加いただきました。

4年次学生では、3年次の末から既に始まっている就職活動期の支援として、各学部学科専攻の就職指導担当教員及び指導教員がキャリアセンター職員と連携して学生の就職指導や進路相談を行っています。これらの指導・相談履歴や企業等受験履歴などは、「D-a c t（就職活動支援サイト）」に集約しており、教職員間の情報の共有や迅速な支援を行える体制を整えています。2018年度の就職内定率は、以上のような就職支援体制により昨年度とほぼ同等の97.8%（2019年3月31日現在）となりました。

（２）資格取得講座の開講

2018年度は、就職活動支援講座を4講座、資格取得支援講座を42講座、合計46講座を教育課程外の講座として開講しました。

就職活動支援講座は、公務員試験対策講座2講座、就職活動に関するまとめ講座2講座を開講しました。また、資格取得支援講座では、国家資格に関する講座19講座、民間資格に関する講座18講座、公的資格に関する講座3講座、語学資格に関する講座2講座を開講しました。

なお、以上の資格取得講座の受講料の一部や受験料の一部を本学後援会の援助を受けて学生に返還しています。

（３）キャリアアドバイザー・キャリアカウンセラーの配置

キャリアセンターでは、事務職員に加えて、キャリア相談専門職員（キャリア・アドバイザー資格取得者）、各業界との太いパイプを持つ専門職員を配置し、より実践的な指導（支援）を行っています。常時学生が相談とアドバイスを受けられる体制を整えることで、学生と企業間におけるミスマッチの解消等が期待されます。近年「就職がうまくいかず、引きこもり」等になってしまう学生が増加傾向がありますが、こうした学生達を出現させないため、カウンセリングスタッフを追加配置し、学生個々の能力、適正と力量に応じた、就職支援を行っています。

（４）保護者向け「就職セミナー」の開催

就職活動の開始を間近に控えた学生の保護者を対象に、就活生をもつ保護者が知っておきたい就活のルールや心構え等を伝えることを目的として、9月に保護者向け「就活セミナー」を開催しました。